關大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　金田雅一
電話 06（388）1121代表
振替口座大阪3—55594番

今年も千里山キャンパスで

4月5日(日)スプリングフェスティバル
桜の母校によっといデー～

校友会は、昨年四月六日母校創立一〇〇周年記念行事として「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」を初めて開催、一万人におよぶ校友家族が千里山キャンパスを訪れ、交流を深めるとともに、母校の発展ぶりを実際に目にして驚きと感激をあじわった。毎年開いてほしいという要望も強く、ことしは四月五日の日曜日、母校の協力を得て千里山キャンパスで開催する計画。家族とともに、桜の花を楽しむのもよし、また世俗を忘れて友と語り、逍遥歌を歌い、学生時代にかえって楽しい一日をすごそうではないか。①この催しは二十万校友の心のふるさとである母校と校友を結ぶ絆であり、一〇〇周年後の新たな取り組みで〝校友デー〟として定着させていきたい。②校友会の定例行事として四月の第一日曜日（大学行事により変更もありうる）に開催する。③将来的にはOBと現役の交流、恩師とゼミOBの交歓、体育会OBと現役の交歓試合なども活発に行われ、全大学関係者が心待ちするような行事に発展させたいと考えられている。

今回は午前十時から午後三時まで、キャンパスの自由見学を行い、総合図書館および考古学等資料室の施設見学も予定されている。

桜のキャンパスを見学する校友・家族
（昨年のスプリングフェスティバルで）

《見　学》

◇総合図書館　六十年四月に開館した総合図書館は、近代図書館の理想にできる限り近づこうとの構想で建設された、大学図書館としてはトップクラスのもので、まさに第二世紀の関大を象徴するものである。

◇考古学等資料室　重要文化財を含む貴重な資料を収蔵している。

◇学生のクラブ活動　新学期を迎えた学内では、体育会各クラブが、グラウンドや体育館で熱の入った練習を、また文化系クラブも種々の課外活動を行う。後輩たちの活動を見学、声援をおくりたい。

◇桜・桜・桜　千里山キャンパスには約百種、千本の桜があり、大阪一を誇っている。この時期はちょうど見ごろと思われるので、家族と花見が楽しめる。

創立100周年記念事業
『関西大学百年史』3部作を刊行

通史、人物、あゆみ
創立期から現代まで

『関西大学百年史』の通史編上巻と人物編、それに写真を中心にした『関西大学百年のあゆみ』の三部作が刊行された。創立一〇〇周年記念事業の一つとして一〇〇年史編纂委員会（委員長大西昭男学長）が編集を急いでいたもので、このうち『百年のあゆみ』は昨年十一月二日の記念式典参加者と在学生全員に配布された。通史編、人物編はそれぞれ三千部印刷し、各大学、図書館、新聞社などに贈ったが、希望者には実費で頒布することになった。

《**通史編上巻**》はA5判、一一二二ページ。表紙はスクールカラーの紫紺のクロス製である。明治十九年の創立から昭和三十年まで七十年間のあゆみを、時代の流れに沿い、河内町興正寺時代から江戸堀、福島、千里山・天六時代と学舎の移転・拡張にあわせて区分し、戦後の新制大学転換期に至っている。

その編集方針は、大学史であるから教育の実情と研究活動にウエートをおくことは当然として、それぞれの時代を背景にした学生生活にライトをあてる。読まれる史書を目指してエピソードを随所にちりばめ、小見出しをつけ、写真を多用する。

この方針に基づいて、新資料の発掘に努め、教職員、校友ら関係者からの聞き取り調査に力を注いだ。これによって、大学史がとかく経営史に陥りやすい弊を克服、親しみやすい内容にしている。

たとえば『関西大学七十年史』（昭和三十二年）刊行後に見つかった「関西法律学校設立の主旨」（明治十九年十月十三日、『大阪日報』）はじめ創立期の新聞記事は貴重なデータで、初代校主・吉田一士の事跡についても新資料が発見された。このほか大学昇格運動を進めた三笠山血盟事件（大正十年）や、文科廃止反対ハンスト（昭和八年）などの体験者の〝証言〟によって、事件の真相に迫った。また戦時中の勤労動員の模様や出陣学徒の犠牲、在日朝鮮人学生が受けた苦難などを詳述。戦後の混乱期、苦境を克服して学制改革に対応、発展の方途をさぐった教職員や学友会活動に目を注ぎ、文化・体育各クラブの活躍ぶりを記録、写真とともに紹介して、親しみを持たせている。

スクールカラーの表紙　関西大学百年史三部作（通史上、人物編と百年のあゆみ）

116人で辿る大学史

《**人物編**》も同じスタイルのA5判、本文九〇〇ページ。その「あとがき」に「通史編をタテ糸とし、人物編をヨコ糸とすることによって、本学史のゆたかな全体像を浮かび上がらせようとした」、「大河の流れにも似た大学史を人物に即して語ろうとした」と、書いているように通史編の姉妹編といえる。

一世紀前、創立に力を尽くした児島惟謙、井上操、小倉久、吉田一士、土居通夫ら先覚者をはじめ、本学の発展に功績があった役員・教職員八十四人と、各界で活躍して母校の名誉を高めた校友三十二人、合計百十六人の伝記を収載している。

児島惟謙先生

岩崎卯一先生

田中晋輔先生

構成は創立期（礎を築いた人々）、守成期（専門学校令による大学を形成した人々）、発展期（昇格を実現し旧制大学を発展させた人々）、飛躍期（新制大学を確立した人々）、拡充期と現代（総合大学の実現と充実に努めた人々）の五期にわけている。

登場人物は故人に限られた。関大中興の祖といわれる大学昇格時の総理事山岡順太郎はじめ、仁保亀松、神戸正雄、戦後「関大ルネッサンス」を唱えた岩崎卯一ら歴代学長・理事長がいる。

教授陣では学歌の作詞者服部嘉香、泊園書院の藤沢黄坡、戦時中の名予科長村上喜貞、水谷揆一、八鳥治一、工学部創設に力があった田中晋輔、専務理事から一高・一中校長を歴任した矢口家治（矢口洪一最高裁長官の厳父）、事務職員では桂忠雄、池田信之助らがいる。

卒業生は政官界に大蔵・運輸大臣をつとめた北村徳太郎、官選時代の富山県知事矢野兼三ら、法曹には日本弁護士連合会長になった大月伸、阿部甚吉ら多士済済。実業界には住宅業界の先駆的役割を果たした中山幸市ら、スポーツ界では三段跳びの大島鎌吉、日本拳法創始者の沢山宗海ら、俳優の志村喬、画家の鳥海青児、女子学生第一号の北村兼子らが異彩を放ち、その人間像が活写されている。

大島鎌吉氏

志村　喬氏

人物編の刊行は他大学史には例がない。これが実現したのは、一〇〇年史編纂専門委員長横田健一教授、同副委員長薗田香融教授らを中心にした執筆メンバーが、昭和四十一年九月から六年半にわたって本紙『関大』に「関西大学を築いた人々」を連載したことも理由の一つにあげられる。登場した五十三人の伝記は『関西大学を築いた人々』として昭和四十八年秋、校友会から単行本として出版された。引き続き四十九年三月から五十四年一月まで「関西大学を彩る人々」を連載して、好評を得た。その後、五十七年五月に〝築いた人〟〝彩る人〟企画を再開、これまでに計八十五人を紹介した。

一方、本学教育後援会の会報『葦』に横田教授が「歴代学長伝」などを執筆してきた。

これらを基礎に、物故した教授、大小嶋真二、福島四郎、上道直夫、三木治、香坂要三郎はじめ、前校友会長岡野衛士、法曹の原田鹿太郎、中務平吉ら三十一人を新たに加えて、人物編ができた。

本文のほか人物中心の関大略年表と人名索引がついている労作である。（関連記事2面に掲載）

640点の写真で綴る

《**百年のあゆみ**》は、写真を中心にした〝目で見る百年史〟で、A4変形判、一二七ページ。

中心になる歴史編はモノクロで八十四ページのグラフ。「関西法律学校の誕生」から始まり、「定礎の時代」、「昇格の実現」、「風雪にたえて」、「不死鳥のように」、「総合大学への躍進」、「教学の充実」までの七章構成。

それぞれの時代の学舎、授業風景、大学祭、スポーツなどカレッジライフをまとめている。

モノクロの前後には鮮やかなカラー写真を配してキャンパスの現況を伝えている。千里山学舎の全景、大学日本一の総合図書館、「学園の四季」や「アングル一〇〇」と題した学生生活のスナップなどが余すところなく描き出している。

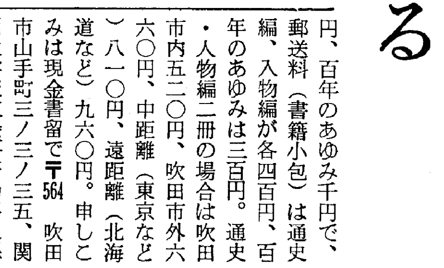
使用した写真は六百四十点に及び、年史編集資料室が永年にわたって収集に努めた。「母校の百年史編纂に役立つなら」と、秘蔵の写真をアルバムごと提供するなど、校友の協力によって完成をみた。

頒価は製作実費で、通史編上巻四千円、人物編三千円、百年のあゆみ千円で、郵送料（書籍小包）は通史編、人物編が各四百円、百年のあゆみは三百円。通史・人物編二冊の場合は吹田市内五二〇円、吹田市外六六〇円、中距離（東京など）八一〇円、遠距離（北海道など）九六〇円。申しこみは現金書留で〒564吹田市山手町三ノ三ノ三五、関西大学校友会事務局年史係へ。

その他の記念刊行物

このほか関西大学では各学部、学会、研究所、研究室、図書館などで、それぞれ記念刊行物、記念特輯号などを作成している。刊行物は次の通り。

▽法学部百周年記念論文集▽関西法律学校の創立とその精神▽文学論集▽経済論集▽商学論集▽社会学部紀要▽工学研究報告▽工業と技術▽技苑▽人権問題研究室紀要▽内藤文庫漢籍古刊古鈔目録▽大阪名家自筆稿本百種展観目録▽籍苑


刊行された「関西法律学校の創立とその精神」

発表に見入る真剣な表情。胴上げを受ける喜びの合格者も

現役と女子が健闘
62年度入試合格者発表

（関連記事2面に掲載）

関西大学六十二年度の入学試験合格者発表は二月十日、千里山と天六の両学舎で行われた。合格者は第一部、一万三千三百九十四人（受験者六万八千七百七十人）第二部九百四十三人（同四千人）計一万四千三百三十七人（同七万二千七百七十人）。競争率は五・一倍（六十一年度、四・六倍）だった。

合格者の中で現役生の占める割合を昨年度と比較した場合、第一部全体では、昨年度三九・四％が本年度四一・一％と増加した。これを学部別に見た場合、法学部、商学部、社会学部、工学部の現役生が健闘した。

これは、国・公立大学の受験機会の複数化による改革元年での、現役生のチャレンジ精神の表れではないかとみられる。

合格者の中で女子の占める割合を昨年度と比較した場合、第一部では、法学部、文学部、経済学部、商学部、社会学部の文科系五学部が増加した。また女子の合格者の中で、現役生の占める割合を昨年度と比較した場合、第一部では、昨年度七〇％が本年度七〇・一％と昨年同様ここでも現役生の健闘が見られる。

志願者7万人突破
〝改革元年〟の受験動向

関西大学の入学試験は二月一日から六日まで行われた。ことしは、国公立大の入試改革が、私大の受験動向をどう変えるか注目されていたが、関関同立とも志願者が大きく増え、なかでも関西大学文系の増加が目立った。

志願者数は第一部、第二部合計で七三、五五九人（第一部六九、四八一人第二部四、〇七八人）となり昨年度に比べ八、〇三八人（一二・三％）の増加となった。

本年度は、国公立大学の受験機会の複数化による改革元年で、志願者動向には、受験生のみならず大学関係者も関心をもっていた。当初から予測されたとおり、国公立大の受験チャンスの増加による高倍率や、二段階選抜ラインを超える国公立大の続出が見られ、これらが影響し、安全志向として私立大に併願を求めたのか、結果的には予想以上の志願者増となった。

関西大学では次のようにみている。

①共通一次試験の入試科目が六十二年度より五教科五科目以下に負担軽減されたため、私立大学との併願が容易になったのではないか。

②国公立大の二段階選抜への不安から、私大併願に活路を見出す受験生が増加したのではないか。

③経済学部・社会学部・法学部の増加は、志願者倍率による隔年現象と、受験者人口の急増による自然増ではないか。

④工学部の減少は、受験機会の増加による国公立大の中での併願校選びが原因ではないか。

⑤地方試験場での志願者増は、地方国公立大の難化による大都市圏への私大併願の増加か。

⑥第二部の減少は、「第一部を受験しよう」という受験生のチャレンジ精神の表れか。

⑦現役・浪人について、第一部では、現役生が昨年より二、八二五人（九・七％）、浪人生は五、五〇〇人（一七・三％）と現役生・浪人生とも増加した。

⑧女子学生については、第一部では、昨年より一、八二八人（二一・一％）の増加、これを現役・浪人別に見てみると、現役生が昨年より一、〇八九人（一七・四％）の増加、浪人生は、七二三人（三〇・五％）の増加となった。

第17回事業部見学会
〝ツイン21〟ビル見学
—躍動する大阪の明日を求めて—
3月7日　参加者を募集

校友会事業部主催の第17回見学会は、関西新空港の実現とともに多くの話題を集めているインテリジェントビルを中心に、躍動する大阪の姿を見学します。

日程は、まず水上バスにて大阪の中心・中之島を廻り、続いて二十一世紀の高度情報社会に対応するビジネスパーク〝ツイン21〟を見学します。大阪城の北側に聳えるツイン21は、地上三八階、百五〇㍍の高さがあり、ツインタワーとしては日本一。時代の最先端をいく建物です。

当日は、母校工学部で電子工学をご専攻の野村康雄先生より、高度情報通信システムについて分かり易いご講演をいただく予定です。大変有意義な見学会です。みなさんお誘い合わせご参加下さい。

◇とき　昭和62年3月7日（土）午前9時50分集合・10時10分出発

◇集合場所　大川・天満橋南詰東側水上バス乗船場（OMMビル裏）

◇見学コース　天満橋発—水上バス—大阪城公園着—講演・昼食（ツインビル38階・東天紅）—MIDタワー—展望台—ナショナルタワー—午後3時半解散の予定

◇臨地講演　母校・工学部　野村康雄助教授（交渉中）

◇会費　5、000円（昼食代も含む）

◇定員　50人（先着順受付）

◇申し込みは、会費を添え、校友会事務局へ。564吹田市山手町3—3—35関西大学会館内（06—388—1121内線4611～4）

葦の雫

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり」—平家物語の冒頭である。この一節は多くの日本人に知られている。母校は創立一〇〇周年記念事業として、インド共和国政府と共同で、仏教遺跡として著名な伝祇園精舎の発掘調査を行っている。仏教文化の源流探索は大変、意義深い◆大西昭男学長を本部長として、文献学、地理学、美術史、建築学の立場から学内の専門家が参加して総合調査を行い、全容を解明する。すでに網干善教文学部教授を隊長とする派遣調査隊が現地で調査に当たっている◆「祇園」は釈迦の説法道場（精舎）のあった「祇樹給孤獨園」（ぎじゅぎっこどくおん）の略称で、デリーの東五百㌔にあるサヘート遺跡がそれとされている◆日本でも「祇園さん」は、京都をはじめ各地にある。祇園信仰は、祇園精舎の守護神であった牛頭天王（ごずてんのう）に対する信仰である。中国を経て日本に入り、須佐之男命（すさのおのみこと）と同一視されるようになった◆京都の祇園は、貞観年間（八五九—八七七年）藤原基経が祇園精舎にならって精舎を建て、牛頭天王を祀るようになり、祇園社または祇園感神院と呼ぶようになった。これが八坂神社の起源とされる。◆サヘート遺跡を最初に発掘したのはイギリス人学者で、一八六三年。その後百年にわたるイギリス人やインド政府による調査の結果、寺院などの建物跡が確認されている。ところがこれまでの調査は、遺跡の北半分にかたよっており、今回の関大調査隊による「空白の南半分」の発掘を世界が注目している◆二年間で二百日の調査が予定されているが、現地は灼熱の地であり、比較的気温の低い冬の間しか作業はできない。想像を絶する苦難もあるだろう。何より隊員が無事で、学問的成果をあげることも期待したい。

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館　ぴつ　心斎橋店2階
メガネ大学堂
●京橋店●心斎橋店
●阪神百貨店●虹のまち店

68年の歴史に支えられた
ハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市東区北浜3丁目39番地
北浜カタノビル1F
☎(06)231-0565～7
大阪駅前店（第一生命ビルB1）☎(06)341-0792
近鉄百貨店（上本町店・枚方店・奈良店）

内外国
特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角　地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出口）
電話　大阪〇六（五三一）七四三一（代）
国際テレックス　〇五二二—五九〇五 TSIPOL
ファックス　〇六（五三一）七四三五

鋳鋼
普通鋳鋼
特殊鋳鋼
深孔明加工
B・T・A方式
孔径 1.4∅～300∅
孔明長 250ℓ～10000ℓ
O.C.S
合資会社　大阪鋳鋼所
代表社員　澤山政康
（S21大経卒）
本社　尼崎市長洲西通1
電話(06)401—0461(代)
ファクシミリ　(06)488—9283
鋳鋼工場　大阪市都島区友渕町3—6—19
電話(06)921—1477(代)
ファクシミリ　(06)923—1477
姫路工場　姫路市大津区勘兵衛町141
電話(0792)39—1256
ファクシミリ　(0792)39—7919
東京営業所　東京都中央区日本橋通3ノ8
（誠ビル）電話(03)271—8437

人材あっせん
決断するは今！　転職・就職の好機。
全国6,700社からなる優良中堅企業の組織
タナベイーグルクラブを中心に、全国主要企業にご紹介
昭和43年以来20年近い豊富な紹介経験
●各職種求人多数あり
事務系　貿易・営業・総務・労務・経理・コンピュータなど
技術系　電子・電気・機械・土木・設計・SEなど
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●特に40歳までの就職有利です

★急募求人の一例

業　種	規模	職種又は経験	年齢	給与	地域
住宅建設業	堅実	販売営業チームリーダー	40才位迄	800万	大阪
建設業	堅実	財務・経理部門主任級	35才位迄	500万	大阪
照明器具製造	中堅	照明器具灯体の設計・企画	35才位迄	400万	大阪
機械器具製造	堅実	繊維機械設計・営業・製造	35才位迄	400万	大阪
消防施設工事防具卸	堅実	電算室運営管理	30才位迄	400万	大阪
消防施設工事防具卸	堅実	仕入・商品管理・販売	30才位迄	320万	大阪
医薬品の開発・製造・販売	外資	経理	28才位迄	協議	大阪
生コン・砕石業	堅実	営業及び経理	40才位迄	450万	木津
ファッションバッグ生地・素材卸	堅実	営業	40才位迄	550万	東大阪
不動産他 多角経営	堅実	経理・総務	40才位迄	500万	吹田

★まずお電話ください。（歴送・ご来社も可）詳細お打ち合わせします（平日18：30まで土曜日15：00まで日・祝休み）
求人も常時受け付けております。
タナベ エリート・バンク
労働大臣許可　経営管理者・科学技術者紹介所No.27・コサ・4
〒564 大阪・吹田市江の木町17-10（タナベ経営ビル）
☎06(338)3451　担当（小菅）（玉澤）

プランニングから印刷までをトータルでプロモートする
東洋紙業株式会社
取締役社長　朝日多光
大阪本社：大阪市浪速区芦原1—3
☎(06)567—2111（大代表）〒556
東京本社：東京都品川区南品川6—1
☎(03)450—2111（大代表）〒140
工場：関西／芦原　平野　美原　東大阪
関東／品川　横浜　王子
営業所・関連工場：札幌　名古屋　徳島　広島　九州
営業品目：企画・デザイン　一般印刷　出版印刷
ビジネスフォーム　紙器：特殊印刷

北から南から

142人が出席して交歓

校友会の新年互礼会

校友会の新年互礼会が一月十二日午後六時から新阪急ホテルで法人、大学、教育後援会、国会・大阪府議会・市議会議員、校友会本部、地域支部、職域会、関係校友会、各種団体から百四十二人が出席、母校第二世紀の新年にふさわしく盛大に行われた。

応援団第六十五代団長、和田野克己君のリード、応援団本部吹奏楽部伴奏による学歌斉唱のあと、樫本校友会長が次のようにあいさつした。

「昨年は母校の創立一〇〇周年を迎え、校友会の記念事業もみなさんのご協力で、すべて成功裡に終了することができた。記念式典・記念校友総会の感激は生涯忘れることはできない。

昨年秋の叙勲で、久井理事長が勲二等旭日重光章をお受けになった。これは理事長の栄誉のみならず、関西大学の栄誉であり、校友の大いなる誇りとするところです。理事長に心からお祝いを申しあげます。

母校においては、これから一〇〇周年の記念事業として校友待望の記念会館の建設を早い時期にしていただきたいと考えている。母校が二十一世紀に向かいますます発展することを祈念するとともに、校友会もこれをさかいとして一層、会員相互の親睦をはかり、母校の発展に寄与したい。

本年四月には統一地方選があり、多くの校友が立候補されると思う。多数の方々が当選されるよう、みなさんのご支援をお願いする」。

続いて久井理事長、大西学長の祝辞があり、出席者全員の紹介のあと、安富参与の発声で乾杯、祝宴に移り、なごやかに懇談した。

各テーブル代表によるスピーチや、吹奏楽部の演奏に合わせて応援歌、学生歌も合唱した。最後に全員が肩を組んで、広い会場いっぱいの輪をつくり、逍遥歌を大合唱、村上代議員会議長、山縣平蔵教育後援会会長の発声で万歳を三唱して閉会した。

盛大に開かれた校友会の新年互礼会

府議ら200人が集う

大阪府庁秀麗会が年賀総会

大阪府庁秀麗会恒例の総会並びに新年年賀交歓会が、一月十日午後、府庁別館食堂で開催された。当日は、岸大阪府知事を始め久井理事長、大西学長、樫本校友会長、それに母校出身の府議会議員等、来賓多数を迎え、二百人を越す参加者で大盛会であった。

開会あいさつに立った岸田会長（大阪府出納長）は、母校創立一〇〇周年という一つの節目をこえ、今後、母校が益々隆盛発展されるように祈念するとともに、私共も、それを側面から援助しよう、と力説した。

来賓祝辞の後、自己紹介のさい、校友府会議員は、こもごも本年春の統一地方選挙で、ぜひとも全員当選を果たし、また来年、この場に集いたい、と固く決意を語った。

宴も進み、やがて最後の逍遥歌となり、今回で勇退の平田泰造府会議員（東大阪市選出）のリードで肩を組み、輪になって合唱し、会を終えた。

（庶務・辻井記）

62年度合格者上位100校

（第1部）

順位	出身校名	志願者	合格者	順位	出身校名	志願者	合格者
1	清風（大阪）	1249	228	51	京都女子（京都）	149	57
2	洛南（京都）	605	174	54	川西緑台（兵庫）	237	56
3	桃山学院（大阪）	1189	166	55	桜塚（大阪）	450	55
4	池田（〃）	502	152	55	高松（香川）	130	55
5	郡山（奈良）	473	150	57	佐野（大阪）	298	54
6	泉陽（大阪）	529	141	57	宝塚西（兵庫）	295	54
7	生野（〃）	308	134	59	姫路東（〃）	173	53
8	箕面（〃）	597	130	60	向陽（和歌山）	231	52
8	大阪貿易学院（〃）	440	130	60	大阪信愛女学院（大阪）	142	52
10	八尾（〃）	465	126	62	乙訓（京都）	219	51
11	富田林（〃）	547	125	63	小野（兵庫）	133	49
12	豊中（〃）	341	122	64	芦屋（県立）（兵庫）	264	48
13	鳳（〃）	529	120	64	向陽（京都）	244	48
14	寝屋川（〃）	377	115	64	西宮北（兵庫）	214	48
15	春日丘（〃）	513	111	64	西宮東（〃）	204	48
15	東大津（滋賀）	493	111	64	三田学園（〃）	172	48
17	大手前（大阪）	303	110	69	葺合（〃）	234	47
18	上宮（〃）	1088	108	69	伊丹（県立）（〃）	205	47
19	住吉（〃）	528	106	71	枚方（大阪）	354	46
20	茨木（〃）	219	105	71	四天王寺（〃）	170	46
21	明星（〃）	583	103	73	近畿大学附属（〃）	289	45
22	千里（〃）	372	102	73	鈴蘭台（兵庫）	242	45
23	三島（〃）	453	101	73	夢野台（〃）	232	45
24	御影（兵庫）	420	100	73	加古川西（〃）	194	45
25	四条畷（大阪）	223	99	77	北千里（大阪）	392	44
26	関西大倉（〃）	876	95	78	上野（三重）	201	43
27	和泉（〃）	395	93	78	西宮今津（兵庫）	146	43
28	天王寺（〃）	277	91	80	高槻北（大阪）	323	42
28	畝傍（奈良）	236	91	80	東山（京都）	306	42
30	東住吉（大阪）	447	89	80	牧野（大阪）	262	42
30	泉北（〃）	436	89	80	神戸（兵庫）	154	42
32	兵庫（兵庫）	339	88	84	橿原（奈良）	302	41
33	北須磨（〃）	429	87	85	刀根山（大阪）	257	40
34	旭（大阪）	378	80	85	西宮（県立）（兵庫）	184	40
35	北大和（奈良）	429	79	85	高田（奈良）	182	40
35	夕陽丘（大阪）	335	79	88	滝川（兵庫）	269	39
37	岸和田（〃）	342	77	88	平城（奈良）	228	39
38	石山（滋賀）	275	76	88	尼崎北（兵庫）	202	39
39	市岡（大阪）	442	75	91	摂津（大阪）	312	38
39	桐蔭（和歌山）	326	75	91	宝塚東（兵庫）	229	38
41	星陵（兵庫）	350	74	91	尼崎稲園（〃）	148	38
41	三国丘（大阪）	211	74	94	橋本（和歌山）	173	37
43	高津（〃）	228	73	95	浪速（大阪）	335	36
43	奈良（奈良）	162	73	95	洛西（京都）	219	36
45	清水谷（大阪）	411	69	97	親和女子（兵庫）	133	35
46	膳所（滋賀）	156	66	97	明石清水（〃）	126	35
47	堺東（大阪）	383	63	99	布施（大阪）	269	34
48	長田（兵庫）	140	59	99	大谷（京都）	187	34
49	清風南海（大阪）	188	58	99	鳴尾（兵庫）	173	34
49	加古川東（兵庫）	161	58	99	プール学院（大阪）	154	34
51	今宮（大阪）	456	57	99	紫野（京都）	148	34
51	北野（大阪）	170	57				

50年ぶり中国同窓の便り

五十経会校友と友情の交流

半世紀にわたり、消息の途絶えていた中国の校友の住所が、同期生たちのほねおりでわかった。現在、病気療養中だが、国境を越えた友情が結ばれている。

中国からの留学生、李鴻年氏（13専2経）は卒業後帰国した。同期仲間（五十経会・平沢農一会長）で集まると学生時代、中国語を教えてもらった李氏のことが話題になったが、住所がつかめなかった。

昭和四十年、会員の中山一義氏が心当たりに手紙を出してみた。これにも返信はなかったが、昨年六月、李氏のオイが日本視察のため来日、校友会事務局に中山、田岡隆両氏の住所をたずねてきて、はじめて李氏の消息がつかめ、旅順に住んでいることがわかった。

八月に平沢会長が中国語で手紙を出し、十月に返事がきた。「五十年も音信不通であったが、天六時代を思い出し、感無量で言葉でいいあらわせない。現在、病気で治療中です」と中国語で書かれていた。

平沢会長は、十一月二日の記念校友総会後に開いた五十経会総会で、このことを報告、李氏の無事を喜びあい、出席者十三人が見舞金を贈った。李氏からはお礼に、と十三人分の年賀状、カレンダーが届いた。

五十経会では、一月十六日、第二回分の見舞金として、地方在住者も加えて十人分を送金、このほど会員のアルバム、寄書き、創立一〇〇周年記念品の図録、校友会の記念品のネクタイピンに励ましの手紙を添えて送った。

関大法曹会が総会

関大法曹会の秋季総会が十二月八日、とり菊北店で、開催された。

総会に先立ち、約三十人の弁護士会員と五人の司法試験合格者が、久井理事長、大橋学長代理、村井法学部長を来賓に迎え、石尾芳久法学部教授の講演に聴き入った。演題は〝関西法律学校を築いた人々—井上操の業績について—〟というもので、懐しい人名が次々と語られ、創立一〇〇周年記念にふさわしい意義のある内容であった。

引続き、場所を大広間に替え、母校関大のみちがえるような近況報告に驚きの声をあげるとともに、「それにしてもなんで最近合格者が少ないんやろ？」とつぶやく者も多く、合格者の飛躍的増大を大学関係者に訴える姿がみられた。宴会は軽妙な司会者のリードで、ほとんど全員が何かをしゃべり、かつ歌い、関大法曹会ならではの家族的な、なごやかな雰囲気に包まれた。

お開きの後も、あるグループは二次会の飲み会場へ、そしてあるグループは四角い机の上での中国語勉強会場へと散っていった。

（岡田 尚明記）

西成支部が年賀交換会

校友会西成支部（山田信夫支部長）恒例の年賀交換会は、一月十一日の日曜日午後三時から、天神ノ森天満宮で開催。木村宮司のおはらいを受けたあと記念撮影にうつり、心洗われた気持ちでレンズに向かった。宮司の志として、新春の縁起もの「卯の土鈴」を授かりこれを手土産に天満宮を後にした。

続いて養老の瀧で祝杯をあげ、これまた山田支部長の志「紅白まん頭」を頂戴したあと、心ゆくまで杯を交わし午後七時散会した。

新春の集い

大阪家事調停関大会

大阪家庭裁判所の関大出身調停委員の新春懇親会が一月二十三日午後六時から心斎橋の料亭丸万で開催された。辻本直正世話人（25大法）の司会ではじめられ本会長老の弓場晴男弁護士（16臨大法）の音頭で乾杯し、祝宴に入った。

この日は会員のほか、来賓として校友会本部から藤本事務局次長、元大阪家裁判事で現大阪高裁判事の鈴木清子氏（女子秀麗会長）を迎え二十人の出席。

平素は大阪家裁で家事調停という社会的に有意義ではあるが、大変難しい任務を担当している会員が、この日ばかりはお互いに胸襟を開いて和気あいあい、調停の苦労話しや、母校の現況と将来の展望などについて、話に花が咲いた。

宴酣になると、学歌斉唱のあと誰からともなく、応援歌・紅千里や学生歌・御空に輝くなどの歌声が涌き起こり、最後は全員肩を組んで逍遥歌を合唱して盛会裡に閉会した。

現在、大阪家裁の関大出身調停委員は、新任委員を加え三十一人（女性八人、弁護士十一人）となったので、この際正式に職域会として校友会に申請してはどうかという気運が高まり、その準備にとりかかることになった。

（世話人 高田 明）

北支部

10周年の記念総会

ロイヤルホテルで盛大に開く

昭和五十二年十月七日、ニューミュンヘン北大使館で百十数人の校友が参加して北支部の再建総会以来十年、母校一〇〇周年記念総会の感激さめやらぬ十二月七日、中之島ロイヤルホテルで坂本教授、藤本事務局次長をはじめ、片野東支部長、乾大淀支部長夫妻の来賓を迎え、五十余人の会員が出席、北支部十周年祝賀総会が行われた。

森位支部長のお礼を兼ねた挨拶の後、小川支部長代行の議長で議事に入り、林幹事長から〝十年の歩み〟と題して再建以来十年間の支部行事等の経過報告が詳細に行われた。

来賓の祝辞後祝宴に移り京都放送でディスクジョッキーをしている桂一蝶の司会で、爆笑の中にカラオケ大会やゲームに一同、童心に帰り、最後にカラーテレビなどが当たる空くじなしのラッキーカード抽選が行われた。上位は森位支部長、前田副支部長などに当たるハプニングもあり、師走のあわただしさを忘れて愉しんだ。（林幹事長記）

塚原氏の叙勲祝賀会

昨年秋の叙勲で、勲四等瑞宝章受章の元宮内庁京都事務所次長、塚原周氏＝13専2経＝の叙勲祝賀会が関西大学五十経会などの共催で、十一月三十日午前十一時から、奈良ロイヤルホテルで七十人が出席して行われた。

平沢農一五十経会会長のあいさつ。祝電披露などがあり午後二時半、盛会裡に終わった。

33人が交歓

豊中支部役員新年会

校友会豊中支部（榎原武雄支部長）の昭和六十二年役員新年会は一月十六日夕刻から、阪急庄内駅前「大北京」で開催。三十三人が参加して新しい年の門出を祝し、支部の躍進に向けて力強く第一歩を踏み出した。

榎原支部長から、母校一〇〇周年を讃える挨拶のあと、母校教学部長大橋昭一教授、支部顧問の稲野副理事長、同じ顧問の近江、中野両衆議院議員の各氏から祝辞があり、開宴した。

役員新年会は、支部再建以来恒例行事として定着し、参加者も三十人を超す盛況で、また顔馴じみの間柄だけに、懇親の実もあがり、支部の門出を飾るに相応しい賑やかな会であった。

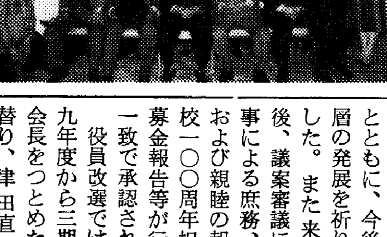
初出席者5人を紹介

愛媛支部で新年の総会開く

関西大学校友会愛媛支部（合田年春支部長）では、一月三十日午後六時半から松山市大街道二丁目の伊予鉄会館クリスタルホールで、六十二年度の総会並びに新年宴会を開催した。

校友四十人の出席の中、合田支部長は母校一〇〇周年記念募金に対する目標達成のお礼を述べると共に、記念式典で前支部長阿部藤吾校友が個人表彰、現支部長が特別表彰を受けたことを披露し、われわれの校友活動が認められ非常に喜ばしい旨を報告した。更に関西大学が第二世紀へのスタートに呼応して、愛媛支部の校友活動がますます隆盛であるよう協力を呼び掛けた。

今回初めての出席者五人の自己紹介、六十一年の校友会活動報告、役員改選と議事は進み再度支部長に合田年春氏を満場一致で選び、三人の新幹事と共に現役員で今後三年間の活動を推進することになった。



新年宴会に入ってからは、顔つなぎの名刺交換や酒を酌み交わし、和やかな雰囲気で懇親会が続いた。恒例となっている余興の部では、校友の会社製品の寄贈品を景品としてのゲームを楽しみ、当たって喜ぶ人、残念がる人、それぞれ年齢を越えての遊びを楽しんだ。

来年は、出席者が一人ずつ校友を連れて出席しようを合言葉に全員輪になり、逍遥歌を歌い解散した。

箕面支部で新春役員会

箕面支部では、関大百一年の新しい世紀を迎えた一月十九日、箕面公園料亭つるや（鈴木斉社長32学1経）で新春役員懇親会を開催した。当日は米沢三郎支部長はじめ支部役員のほか、校友会本部から宝田重幸組織部長、藤本道人事務局次長を迎えて二十二人の出席。

藤元幹事長の司会で、米沢支部長挨拶、宝田組織部長の祝辞のあと、吉田三七雄支部顧問（法人理事）の音頭で乾杯し、祝宴に入った。

この日は、十一月二日の一〇〇周年記念総会で、支部が優良団体として感謝状を受けたこと、及び米沢支部長が一〇〇周年特別表彰を受けた二重の慶びの祝賀会も兼ねていたので、名物料理を囲んで、和やかな中にも話に花が咲き、一同大いに気炎を上げた。

顧問の永田広海元支部長、野村吉治前支部長から夫々懐古談と激励のスピーチが出る等、大いに盛り上ったところで、新しい世紀への躍進を期して、富田常任幹事十八番の〝乾杯拍子〟でしめくくり、宴を閉じた。

（副支部長・高田 明）

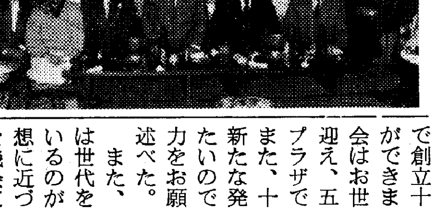
5月に10周年の総会を

女子秀麗会役員新年会

関西大学女子秀麗会（鈴木清子会長）の六十二年役員新年会は、一月二十四日午後二時から東区備後町の美々卯本町店で開かれた。

「あら、お久し振り」

「本年もどうぞよろしく」にこやかに挨拶の交される中、定刻前にはほとんどの役員が顔を揃え、会場は華やいだ雰囲気に。男性は吉田三七雄法人理事、金田校友会事務局長、藤本同次長ら。



まず、挨拶に立った鈴木会長は「女子秀麗会も今年で創立十周年を迎えることができました。本年度の総会はお世話になった方々を迎え、五月十六日、ホテルプラザで盛大に行いたい。また、十年を区切りとして新たな発展を目指していきたいので皆様の一層のご協力をお願いする」と抱負を述べた。

また、吉田理事は「組織は世代を越えてまとまっているのが理想。この会が理想に近づいているか、十年を機会に今一度、原点に帰って見直してほしい」と激励した。

早速、懇親会に移り、乾杯と同時に同店自慢の〝うどんすき〟に一斉にはしが伸びる——。

記念校友総会で表彰を受けた鈴木会長が「これは私がいただいたものでなく女子秀麗会という組織が栄誉をうけたものです」と、記念品の銀杯を披露。その銀杯で薩摩卯一同店社長（東支部名誉支部長）差し入れの冷凍酒を回し飲みし、喜びを分かち合った。

総務、事業、広報など各部の若手より抱負・報告を受け、五時前、全員肩を組んで逍遥歌を合唱、時間をおしみつつ散会した。

北海道支部新年会

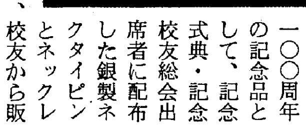
北海道支部の新年会が一月三十一日午後六時半から札幌京王プラザホテル「南園」で開催された。大学から地方試験のため来道の商学部木田教授を迎え和やかに昔話あり、近況報告あり、と楽しい一時を過ごした。

なお、昨年春の叙勲で当支部の岡本理一旭川大学学長が勲三等旭日中綬章を受章、ささやかながら記念品を贈呈して祝い、また昨年四月のスプリングフェスティバルのビデオを見ながら、各々年代の違いこそあれ共に学んだキャンパスに思いをはせ、校友会としてのつながりを深め、更に多くの会員が参加することを望み閉会した。

100周年記念ネクタイピン

希望者に実費で

ペンダント売切れ



母校創立一〇〇周年の記念品として、記念式典・記念校友総会出席者に配布した銀製ネクタイピンとネックレスが大好評で、校友から販売してほしいという要望が多く寄せられたため、追加作製を行い、希望者に実費で販売している。ペンダントはすでに売り切れたが、ネクタイピンはまだ残りがあるので、希望者は早急に申し込んでもらいたい。

頒価は、一個二千円（送料別）。現金書留で、個数を書き送料をそえて校友会事務局「記念品係」、〒564吹田市山手町三の三の三五（関西大学会館内）まで。

送料は次のとおり。

▽一個百五十円 二、三個二百円、四～七個二百五十円、八～十個三百五十円。

津田直久氏が新会長に

弁理士関大会総会

弁理士関大会の昭和六十一年度定例総会兼懇親会は、樫本校友会会長、大橋学長代理を迎え、一月二十七日午後六時から肥後橋の徐園で会員二十五人が出席して開催された。

森本会長は、母校一〇〇周年記念の会員の募金総額は一、一六三万円に達し、会員各位の協力に感謝するとともに、今後の母校の一層の発展を祈りたいと挨拶した。

また来賓の挨拶の後、議案審議に入り、各幹事による庶務、会計、研修および親睦の報告、藤原母校一〇〇周年担当幹事長の募金報告等が行われ、全会一致で承認された。

役員改選では、昭和五十九年度から三期にわたって会長をつとめた森本会長に替り、津田直久氏（34法卒）が新会長に選任された。新会長は、現会長の路線を承継し、本会の一層の充実、発展を期したいと就任の抱負を語った。

引続いて開かれた懇親会では、和気あいあいと歓談を大いに楽しみ、午後九時、全員で肩を組み学歌を斉唱して、盛会裡に散会した。

（東尾正博記）

正直であれ、うそつくな

孫が語る堀田正忠氏の晩年

「たくさんの孫に囲まれて悠々自適。好きな本を読み、好きな酒を飲んで幸せな晩年でした」——関西法律学校創立者の一人、堀田正忠の思い出を一月二十日、孫の堀田正道さん（三木市自由丘本町二丁目三二六、翻訳業）はこう語った。

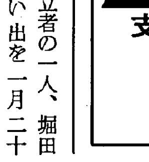
堀田正忠は、本学の創立者たちに強い影響を与えた司法省顧問ボアソナードに直接師事し、森順正（法政大学の創立者の一人）とともに「ボアソナード門人」の肩書きを許された。フランス流のスタイリスト、さわやかな弁舌で検察官の花形となり、「国事犯の堀田」とうたわれたが、晩年については詳しいことがわかっていなかった。

正道さんは「晩年は人柄もまるくなり、世を達観していたふしがあった」と語り、記憶に残る正忠の言葉は「正直であれ。うそをつくな」。なかなかの美食家で、精神的にも充実していたためか、穏やかな臨終だったという。

なお、正道さんの父正昭さん（正忠の長男）は昭和十二年十一月六日、日独伊防共協定締結時に駐イタリア大使をつとめた。

（年史資料編集室 熊博毅）

校友演出家八木氏に第9回全児演賞



全国児童・青少年演劇協議会（道井直次委員長、略称・全児演）の第九回全児演賞がこのほど校友の演出家・八木亮三氏（ペ名）＝17専Ⅰ法＝に贈られた。高松市を拠点に全国巡演活動を展開する劇団RNCの代表として児童・青少年演劇の普及に努めた功績が認められたもの。

八木氏は戦後、大阪で劇団「青猫座」に関係していたが、昭和三十五年からRNC（西日本放送）放送劇団に講師として参加、同五十一年に劇団RNCとして独立し、代表となった。瀬戸内海を舞台に核、戦争、いじめ、子供の自殺など現代的なテーマに取り組んだミュージカル・シリーズ三連作を発表し、高い評価を得た。同五十九年には第二十四回久留島武彦文化賞特別賞を劇団が受賞した。

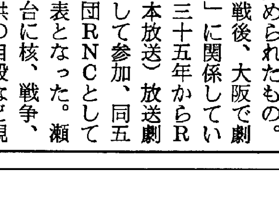
八木氏は「劇団は関東が中心だが、地域に根づいた演劇活動が評価されたのは、とてもうれしい。劇団員や関係者のみなさんのおかげです」と語った。

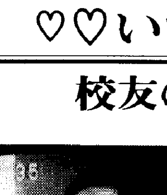
冬の山陰＼香住港
味覚の王者・松葉ガニ
本場の かに料理
11月初旬～3月末迄（予約受付中）
ぜひ一度ご賞味下さい。ウィークデーのご利用は特別サービスいたします。
◆豊富な海の幸 荒磯料理
◆高級和牛のふるさと 但馬牛料理
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園 （運輸省国際観光民宿）
海辺の宿 はまかぜ荘
香住生まれのOB 宿院 寿彦（36学1商卒）
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL.07963-6-0773 （香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

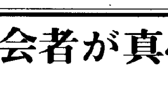
新宴会場オープン
支部総会・記念パーティーに。
千里阪急ホテル
地下鉄千里中央駅前 TEL (06) 872-2211

商標 登録
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13－28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 631－6565
641－1666(代)
641－6565
特別割引券 関大 Ⓢ
山本雅巳
（昭和53年大法卒）

Lumy
Formal Bag
自信に満ちた装いこそ豊かな女の特権です
株式会社 はしもと
取締役社長 橋本榮次
（昭和30年商学部卒）
本社 大阪市東住吉区田辺3-27-9 TEL.(06)628-3331（代表）
OMM店 大阪市東区京橋1丁目7番地 OMMビル4階 TEL.(06)943-2402（代表）
東京店 東京都中央区京橋1丁目1-1 TEL.(03)271-1956（代表）







♡♡いつまでも心に残る披露宴・イベント司会♡♡
校友のプロ司会者が真心こめてお引受けいたします。
NHKテレビで語る
谷口靖弘
毎日（新聞）文化センター
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校
大阪観光専門学校 以上講師
昭和42年 新聞学科卒業
元 朝日放送アナウンサー
内藤央子
昭和42年 英文学科卒業
フリーアナウンサー
大阪ビジネスカレッヂ専門学校
講師 坂上みどり
昭和54年 英文学科卒業
司会者報酬規定
通常5万円～10万円を
校友関係者に限り
4万円～7万円にてお引受けいたします。
テレビ・新聞で紹介された、好評の講習会
◎人前で堂々と話し、歌えるようになります。
Ⓐ スピーチ・カラオケ教室
Ⓑ かくし芸教室
各コース個人・出張指導いたします。お問合わせ下さい。
司会者センター
事務所 大阪市西区九条1丁目6番18号 谷口ビル5F
〒550 TEL (06) 584-2562
ご連絡は、代表者・谷口が在する夜間6:00～9:00にお願いいたします。

豊かなくらしに住まいの装飾
スリムな家具は、
お2人の居住空間を広げ、
洗練された都会派の暮らしを演出します。
新春 新作家具セール実施中！
その他、ブライダル家具から室内外の設計・改装工事までお気軽にお申しつけ下さい。
● 日本全国どこからでもお電話下さい。係員がお伺いし、親身になってご相談に応じます。
● ご注文の際は、本広告をお示し下さい。
株式会社 山城屋家具装飾店
・日本インテリアデザイナー協会正会員 ・日本室内設計士会会員
・インテリアアドバイザー加盟店 ・建設業許可（般-60第55018号）
本店 豊中市本町1丁目3番2号 TEL (06)854-2251(代)
能川夏代 （旧姓山下・昭42学1新卒）

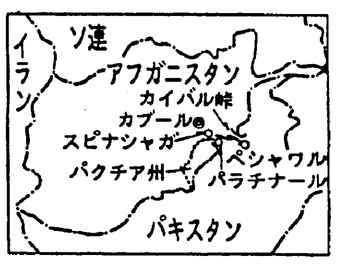
〝闘うアフガン・ゲリラ〟と一カ月

関大生・満尾君の冒険取材

アフガニスタンにソ連が軍事介入（昭和五十四年十二月）してから七年。「ゲリラは、圧倒的なソ連・政府軍に抵抗を続けうるのだろうか。その疑問を自分の眼で確かめたい」と、法学部学生、満尾浩隆君（二〇）が、昨年九月から一ヵ月間アフガンゲリラ基地に潜入した。生命がけで撮り続けた写真は、ゲリラ兵士たちの生活、戦闘のナマの姿を伝えている。冒険取材で彼が得た結論は、「子供が戦うことと憎むことしか知らないとは、とても残酷なことだ」、「私たちの世代にとって、平和や自由は空気や水のようなもの。その豊かさの中で、大学生ですら近くばかりを見すぎているようで、極端に違いすぎる」であった。ソ連・政府軍側がことし一月十五日、一方的停戦をしたかと思うと、二月に入って再び大攻勢が伝えられて、アフガン情勢は目まぐるしい。以下は満尾君が語るアフガン・リポート。同君の行動ルート。

ペシャワル（パキスタン）→パラチナール（パキスタン）→ジャジ（アフガニスタン）東三〇キロぐらいの基地→パラチナール→スピナシャガ（アフガニスタン）→ジャジ→スピナシャガ→パラチナール→ペシャワル

（広報部長　篠原茂一）



俺たちは〝神さまの兵〟

10歳だった射撃の名手

――まず、ゲリラ戦たけなわのアフガニスタンに、生命がけで入っていった理由から……。

満尾　最初はそんな危険だとは、思っていなかった。動機は現代のスーパーパワーであるソ連・政府軍に対して、小銃だけのアフガンゲリラがなぜ互角に戦えるのか、自分の眼で見たいという好奇心からです。

――アフガン入りは、どのような方法で。

満尾　八月二十四日に大阪を出て、九月二日にパキスタンに入り、アフガンには約一ヵ月滞在した。ペシャワルの街で、チューインガムなどを売っているアフガン難民の子供の写真をとっていたら、若い男（大学生）が「日本人か」と声をかけてきた。「ゲリラ戦士を撮りたい。できればカブールまで行きたい」というと、アフガン援助組織の事務所に連れて行ってくれた。「日本人とバレないように検問所では何もしゃべるな」と、いわれた。

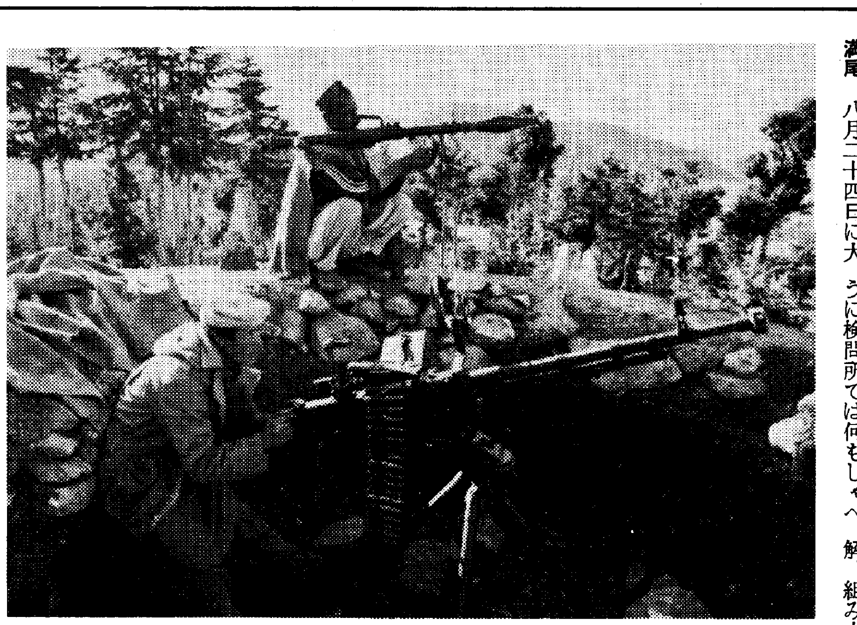
アフガニスタンには、ジンギス汗以来の蒙古人ハザラ族がいて、日本人そっくりの顔をしている。また、ペルシャ語（ダリ語）とパシュトゥー語があって、二つの言語は全然違う。そのせいか、一言もしゃべらなくても不審がられもせず、難なく国境を越えることができた。

1週間はゲリラの訓練

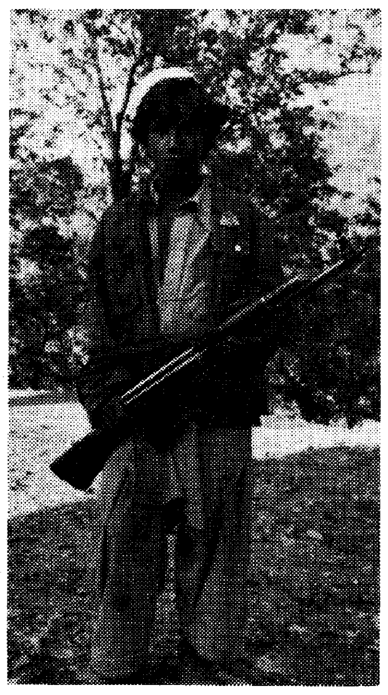
――いきなりアフガン・ゲリラの基地に入ったのか

満尾　最初は、ペシャワル郊外のキャンプで約一週間、ライフルの撃ち方と分解、組み立ての訓練を受けた。キャンプではサウジアラビア、南イエメン、シリア、エジプト、リビアなど回教国から応援にきた〝外人部隊〟が、ゲリラ戦士として訓練中だった。彼らにとって、アラーの戦士としてジハード（聖戦）に参加することは至高の名誉であり、英雄視されるそうだ。

ゲリラ基地へは、ラクダやロバを使って弾薬、食糧、衣服などを送る補給隊について行った。



（上）ロケット弾、高射機関銃で備えは堅い



（左）銃を持つ少年戦士

米のめしの上にヨーグルト

――ゲリラ基地での生活は、どう。

満尾　おそろしく粗食だ

主食は、ナーンとスープ。ナーンはのばした小麦粉をカマドの内側に張りつけて焼くパン。スープは香辛料そのものの感じだ。三日に一回くらいライスが出る。米のめしに喜んでいると、ヨーグルトをかけるので、妙な味になる。彼らは手をシャベルのようにして食べる。私とは、全然スピードが違う。たまに肉が出たときには、多い目にわけてくれるなど私にはとても親切だった。

――出撃すると、基地に帰るまで食事ぬきになるそうだが……。

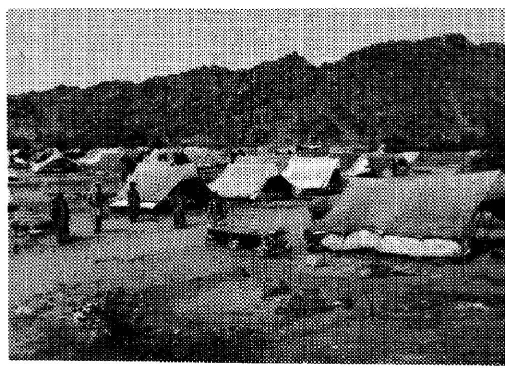
満尾　朝五時半の祈りがすむと、六時に行動を開始、基地に帰るのは夜九時になったこともある。それから炊事で、一日一食だ。行動の途中、クルミの実を取って食べたり、ポケットの飴をしゃぶったりする。彼らは、バザールで買った黒砂糖の塊を持ち歩いている。

――服装は？

満尾　アフガンは高地だから、夜はかなり寒い。ペシャワルにはアメリカ軍、韓国軍の中古衣料が出回り、ジャケットが八千円もした。

十歳の少年戦士、アブドゥラ（ABUDUL）は射撃の名手で、クルミの実を連射してみせてくれた。

パキスタンの民家で（左、満尾君）



ペシャワルの難民キャンプ

中国製マシンガン

――戦闘には？

満尾　参加した。ただし、銃は持たない。ゲリラ戦の実態をカメラにおさめた。かつて住んでいた自分たちの家に、ロケット攻撃をかけたりした。夜襲にも四、五回ついて行った。たった一人の留守番は、こわくてとても出来ない。皆と一緒に行動する方が心丈夫だからだ。逆に夜間砲撃を受けたこともある。近くの防空壕に逃げこんだ。ヘリコプター攻撃に備えた対空陣地もあった。マシンガンはほとんど中国製で、ソ連製（捕獲品）も使っていた。

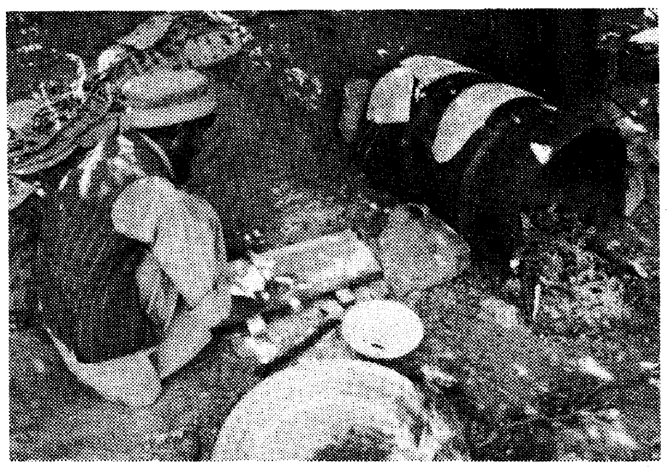
足元に地雷が！

最高にこわかったのは、いきなり「マイン」（地雷だ）と言われたときで、足がすくんでしまった。というのも、ジャジ（バイチア州）の戦闘で、兵士の一人が地雷を踏んで戦死したかただろう。

満尾　ゲリラ基地に入って一週間が過ぎたころ、猛烈に帰りたくなった。眠る前に「明日は、まだ生きているかな。今度こそ危ないのと違うかな」と、不安だった。戦闘に参加するごとに、こわさが募っていった。半面、二度と来られないところだし、皆に親切にされるので、フィルムがなくなるまで頑張った。

――戦士たちの、戦いぶりは？

満尾　アフガン人は、勇敢だった。丘の上に身をさらして立射する。その撃ちあいのさ中に手鏡を取り出して、髪を梳いたりするから、全くあきれてしまう。「俺たちは神さまの兵隊だ。弾丸は当たらない」と、信じているようだった。その点、外国からの応援部隊がマシンガンを頭上にかかげて引金を引いているのにはこれまたあきれた。



ドラムカンにはりつけてパンを焼く

ゲリラの対戦車地雷

基地にも祈りの広場

――宗教心について……。

満尾　サウジアラビアから来た兵士は「日本企業に勤めていたのを退職して聖戦に参加した」と、言っていた。私からみれば狂信的で〝神さまの兵士〟だから「必ず勝つ」と、バイタリティにあふれていた。

宗教心といえば、ゲリラの基地にもメッカの方向を示す石をおいた広場があった。私は何気なくそこでタバコを吸って、こっぴどく叱られた。神聖な祈りの場をけがしたというわけだ。

基地で、メッカに向って祈るゲリラたち

――今回の旅を計画したのは、いつ？

満尾　昨年春の試験休みに、中国へ二週間、友人と二人でブラブラ旅行したとき、自分の英語が少し通じたので、自信が持てた。それでアフガンでも、人さえいればどうにかなる、と思い、目標をアフガンに定めて、資料を集めて読むなど準備した。

――旅の総括を。

満尾　アルバイト仲間の学生に、私は「お前らはヨーロッパへ行くだろう。俺は、関大の根性をみせてやる」と、言って出かけた。アフガニスタン滞在中、雨は一度も降らなかった。風が吹くと砂嵐になって、一面曇ってしまい、何も見えなくなる。生活条件は非常に悪い。女の人を見かけることはなかった。かりに出会っても、頭から下までマントをかぶっており、話をすることも写真もとれない。

日本は恵まれた国であり、物資の豊富な国である。それだけにモノに執着する国民のようだ。アフガニスタンの若者は恵まれない条件下で、エネルギーにあふれていた。「貧しくても戦える」青年のバイタリティを知ったことが、大きな教訓になった。それにしても帰国後、私のアフガン報告が読売新聞（61年12月3日）に掲載されると、連合赤軍から仲間扱いされたのには驚いた。

政府軍の攻撃に勇敢に応戦するゲリラ

新刊紹介

「恩讐の国」

リ・ソンヒ著

（サンケイ出版千五百円）

本書は、一九四一年（昭和十六年）に、関西大学専門部の経済学科を卒業され、一九六〇年代以降、韓国で経済官僚として活躍された一校友の手になるものであり、自伝の形を借りた日本ならびに日本人論である。

著者は、植民地下の朝鮮に生まれ、小学校卒業後に来阪、城東商業をへて関大専門部への道をたどり、十五年戦争下の日本における朝鮮人という立場を体験された。その過程を中心に、あわせて戦後、現在にいたるまでの思いも加えて、日本と日本人の朝鮮・韓国（人）に対する態度と問題点を、全体として自伝風に、しかし同時にフィクションをも交えて記されたのが、本書である。当然ながら、そこでは戦時下の関西大学における生活と事件もいくつか語られるわけであり、本学関係者にはそれだけでも興味をひこうが、それらを通して日韓関係史に貢献したいというのが、著者の願いでもある。

著者の日本に対する思いは、一言でいえば、題名の「恩讐の国」に表される。一方で、朝鮮と日本のいたるところで味わわされた、特高・警察に代表される日本と日本人への数限り無い「怨念」、他方で、その中で出会った、忘れることの出来ない人と事件に対する「恩誼」、そのアンビヴァレントな両極的な思いが、菊池寛の「恩讐の彼方に」への思い出と重なり、それらを超えるべく、この題名が選ばれたといってよい。

もっとも、そうした思いをもちながら、なおそれでいて、日本人は「相手の立場に立ってものを考えようとしない」というかつての感想が、いまなお消えていないという点は、私たちの現在の問題として見逃すべきではなかろう。その点では、本書は、現在の日韓関係と日本人への思いをこめ、そのために書かれたものであって、たんに戦前の日本に対する、ないしは日本での青春時代に対する回顧ではない。

とはいえ、本書は、自伝という形をとって、もっぱらその間のエピソードを連ねて物語られるのであって、かつて文科を志望して拒まれた著者の昔の夢を果たそうとするものでもあり、古きかの失われた時代と人間に対する著者の回顧と愛惜の情は、現代に対する虚しさ、やるせなさを漂よわせて、人生への寂しさを感じさせる。著者の祖父母の――ことに祖母の――像と言葉はあざやかで印象的であるが、山における「孫生（ヒコバエ）」への感動という形で託される新しい世代への希望が、はたして果たされるか否かは、今後の両国民の課題でもあろう。

（松岡　保・経済学部教授）

九谷焼伊万里殺人事件

中田善明著（32学1経）

（京都書院、千八百円）

素人が陶磁器を手にした場合、図柄や彩色、土の質などによって〝○○焼〟と判定するのが普通であろう。

しかし、いつの時代にも、〝模作〟はつきものである。

ことに加賀・九谷では、明治から大正期にかけて、多種多様なイミテーションが生産された。もし九谷製の伊万里・色鍋島・柿右衛門展を開催すれば、よほどの専門家でも真贋を見分けることは容易でないという。

ものがたりは九谷製古伊万里・色鍋島をめぐって、老美術商が怪死するところから始まる。収集家、人間国宝、大物政治家を巻きこんでの殺人事件を軸に、古陶磁美術協会内での陰謀劇、重要文化財の真贋論争が展開されていく。

まさに疑問が疑問を呼び、真相知りたさに、一気に終章まで読み進んでしまう。推理小説という体裁をとりながらも、古陶磁器界の暗部にメスが入り、陶芸史における九谷焼の位置に問題提起がなされている。

著者は九谷焼陶工の子孫。祖先の足跡をたどるうち、九谷焼の彩色図案多数を発見、〝魔性の陶磁器〟の魅力にとりつかれた。

ミステリーを楽しめるだけでなく、知らぬ間に美術に対する造詣が深まる好読物である。

（H）

スポーツ振興で表彰

大阪府知事と体育協会から　矢野文雄氏ら8氏

財団法人大阪体育協会四〇周年記念の会が、一月二十九日、大阪コクサイホテルで行われ、スポーツ振興に多大の貢献をした人たちを表彰、感謝状を贈った。表彰された校友はつぎの通り。（順不同、敬称略）

◇大阪府知事感謝状

▽矢野文雄（9大法、日本拳法）▽松井　清（13専I経、レスリング）▽村木実（15大法、陸上ホッケー）▽山口吉雄（臨16大法、フェンシング）

◇大阪体育協会会長表彰状

▽三谷幾太郎（8大法、ボクシング）▽榎原嘉之（25学I経、ハンドボール）▽山本新吾（28学I経、近代五種バイアスロン）▽吾妻幸昭（33学I経、フェンシング）

◆香川大に校友法学部長

香川大学法学部は、一月二十一日に開いた教授会で、新法学部長に校友の高野真澄教授（五五）＝28学I法＝を選出した。任期は四月一日から二年間。

高野教授は神戸大学大学院博士課程単位取得。尾道短大助教授、奈良教育大助教授などを経て五十二年に岩手大教授となり、五十七年から香川大法学部教授。専門は公法学。

◆大阪駅長に山口校友

二月十四日付で発令された国鉄幹部の異動で、大阪駅長に校友の山口貞雄氏（35学2法＝大鉄局事業部長兼開発部長）が決まった。

◆一〇〇周年募金に寄付

大阪府議会議員、大前英世氏（42院修法）は父、死去（4面に掲載）により、その供養にと二月七日、百万円を母校創立一〇〇周年募金に寄付した。

◇訂正とお詫び

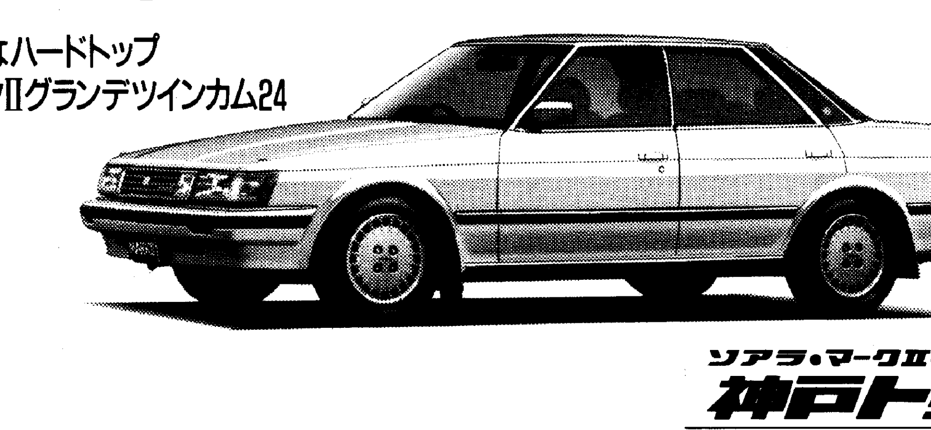
一月一日付二面「予科各期の合同総会」の写真はほかのものを間違って掲載しました。訂正してお詫びします。

全国仲人連合会結婚相談所
―関大卒業生は入会金無料―
〒579 東大阪市本町4番3号
TEL0729(81)2763
0729(86)0002
大谷　杲（29学1経卒）

＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量(0.007)！冷やして飲んでも最高です。
減量 やせたい方に
アルカリ飲料 美容健康茶
ウエイトコントロール 味はさわやかマイルド
●ティーバッグ(20袋入) 850円
●ティーバッグ(50袋入) 2,000円
●特選お徳用箱(130g入) 1,500円
●特選マイルド(300g入) 3,000円
中国皇茶 楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元 株式会社タムラ　試供品請求券 K係
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹

おそばのおいしいお店、
家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
関西店 阪急三番街／ウメダ地下街／阪急32番街／ナビオ阪急／難波戎橋筋／ミナミ地下街／南OSプラザ／地下鉄住之江終点／江坂東急ビル／府道茨木警察北／高槻松坂屋／阪急川西能勢口駅前／国道171号西宮門戸陸橋西／阪急三宮駅西口／神戸ポートアイランド／堺高島屋
東京店 有楽町／渋谷／蒲田／池袋／新宿／荻窪／大森／北千住／八王子
横浜店 ヨコハマルミネ　浦和店 伊勢丹
津田沼店 イトーヨーカドー　新潟店 伊勢丹
札幌店 丸井今井本店　浜松店 松菱

小﨑土地興業株式会社
小﨑住宅産業株式会社
小﨑管財株式会社
代表取締役 小﨑健新（31学一法・33院修法卒）
本社 〒545 大阪市阿倍野区播磨町一丁目二十一番二十一号
電話 大阪 〇六―六二二―〇六八〇番(代表)
住吉営業所 〒558 大阪市住吉区長峡町二番三号 住吉大社前 オザキビル
電話 大阪 〇六―六七五―一一五一番(代表)
FAX 大阪 〇六―六七五―一一五三番



Grande
輝きは、時を超えて 新型マークⅡ誕生。
時を超えて輝き続けるマークⅡ。その栄えあるプレステージの歴史に、また新たな1章が加わりました。
気品と格調にあふれたそのフォルム。磨き抜かれた高性能エンジン、レーザーα1G-Ⅱツインカム24。
乗る人の心と動きに鮮やかに、そして確実に応えます。今、いちだんと輝きを増して、新型マークⅡ誕生。
華麗なハードトップ
マークⅡグランデツインカム24
美しき正統 New MARKⅡ
ソアラ・マークⅡ・コロナ・コルサ
神戸トヨペット
本社 神戸市兵庫区水木通2丁目1番1号 ☎576-5001
取締役会長 西村佐三郎（大正14年商業学科卒）
取締役社長 西村太一（昭和31年法学部卒）

各種鋳鋼品
橋梁高架用沓並に伸縮継手
薄肉スパイラル熔接鋼管
日本鋳鋼会々員　日本海事協会認定工場
ノルウェー船級協会認定工場　ビューローベリタス船級協会認定工場
米国船級協会認定工場　ロイド船級認定工場
KSK
呉羽製鋼株式会社
代表取締役 森　正治
本社 〒555 大阪市西淀川区竹島五丁目四番四十一号
電話 大阪 〇六(471)四三三一(代表)
ファクシミリ 〇六(475)〇五三一
福知山工場 〒620 福知山市長田野町一丁目三〇番地
電話 福知山 〇七七三(27)二七六一番(代表)
東京営業所 〒101 東京都千代田区岩本町三丁目十一番八号
イワモトチョービル六階
電話 東京 〇三(851)五七一八番

金子辰雄氏寄贈

榎本武揚文書について

法学部教授　**石尾　芳久**

久井理事長の友人であられる金子辰雄氏から、榎本武揚と親交の厚かった父君金子増燿氏所蔵の榎本武揚の詩〟書状が〟本学百周年を記念して寄贈されたことは、「関大」三五八号の報ずるところである。この度それに附帯して榎本自身が所持しており、それを金子増燿氏に与えられた二通の書状が、金子辰雄氏より本学に寄贈されることになった。その中の一通は、中井・寺島より木戸・大久保にあてたものであり、十一月十四日の日付がある。五稜郭攻防の真相を示唆するものとして貴重な史料である。

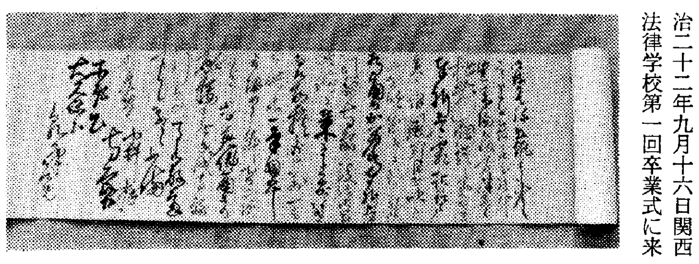
右書状に「局外中立相解候上は、我太政官の権力実ニ独立不抜之基本立べし」とあることにより、明治元年十二月二十八日の局外中立解除以前のもの、明治元年十一月十四日の書状であることが判明する。中井弘、寺島宗則連名の木戸孝允、大久保利通宛の書状であり、中井弘の筆になるものである。

「方今国家多難之際ニ当り、即今海賊箱館を取切り強暴の振舞ニ及候」という状況であるが、感情的に「海賊」（旧幕軍）と「抗衡」するならば、かえって外国の「種々の奸策」をまねくことになる。外国の奸策を断絶するという外交交渉と「日本全州独立不動之基本相立」こととは、深い関係にある。そのためにはもって敵対した旧幕軍に対する寛大な処置、理性に徹して全局をみるという処置こそ、望ましいとするのである（「故ニ寛典ニ被命候上ニ而内外維新平治の功を見て然る後ニ彼等が処置ニ手を下し候儀、如何ニも上斗と奉存候」）。

明治二年五月十八日、榎本武揚、松平太郎、荒井郁之助、大鳥圭介は、この戦闘の全責任を自己に帰して降服した。その直前、榎本がオルトラン『海律全書』を兵火に付するにしのびず、黒田清隆に贈り、黒田が榎本の学問への熱情に感激し、その助命に奔走したこと、すなわち黒田が榎本らへの死罪の方針を排して二年有余赦免を主張しつづけたことは、周知の事実である。

しかし、右書状によると、黒田のみならず薩長の内部にも、全局的観点よりして人材をおしむという気風が存したことを知ることができる。この気風を貫徹するためには派閥的感情を自己粛清することも辞さないという清新の情熱が維新直後の政府には確かに存したのである。

出獄後、榎本はこの書状を木戸、大久保のどちらかから託されることによって、前述した如き赦免の経緯を知ることとなり、このことが榎本をして維新政府に献身の力を尽す理由となったと考えられる。それ故、榎本にとってこのような事情にもとづき維新政府の仕事をすることは、決して転向ではなかった。政府部内にあって維新政府のよき伝統を伝え、派閥的偏向を是正することをその任務とした。右書状はこのような旧幕府と維新政府との関係を知る上での貴重な事実を示唆するものである。



木戸、大久保宛の書簡

森有礼暗殺後、文部大臣に就任した榎本武揚は、明治二十二年九月十六日関西法律学校第一回卒業式に来学した。当時の関西法律学校は特別認可不許可の学校であった。文部大臣としては無視してもよいような私立法律学校であった。その法律学校の第一回卒業式に何故来学したか。

この理由をたずねることは関西法律学校創立の事情を探求する上においても重要である。榎本の赦免に在野で尽力した福沢諭吉の論拠は、国事犯寛刑論である。国事犯と破廉恥犯とを峻別するという理論であった。薩長政府が次第に藩閥的傾向に偏してゆくことを批判する勢力は自由民権運動であり、法曹団体の活動であった。

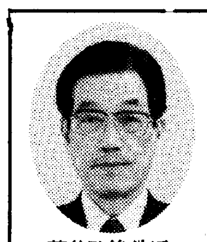
この卒業式には榎本武揚とともに児島惟謙が出席した。児島もまた国事犯寛刑論者であったことは、その手記によって知られる。児島やボアソナード門下の法曹が、政府の藩閥的傾向に批判的な勢力であったことを榎本は夙に認識していたのである。本学創立に重要な後見的役割を果たした児島との友情にもとづき（そのことは後の大津事件についても認められる）、そしてまた私立法律学校における法曹育成の重要性に鑑み、来学したのである。榎本武揚は広い視野に立って人材育成の方針（自己自身もまた死から生へと回生する契機となった人材育成の方針）を貫徹し得る情誼の人であった。

金子辰雄氏の父君金子増燿氏は、榎本の情誼の奥底にひそむ武士の真情を洞察され本文書を大切に保存されていたのである。（本稿を草するにあたり本学図書館主事藤原有和氏の援助をうけた。）

金子辰雄氏（昭6大法）は八十二歳。大阪府泉南郡熊取町大久保九二〇ノ二八在住。

イギリスの年次有給休暇とレジャー

経済学部教授　**荒井　政治**



荒井政治教授

≪ホリデー≫　イギリスでは夏にまとめて一カ月の有給休暇（ホリデー）をとって、リゾートでのんびり過ごす人が多い。ピークの七—八月にはロンドンのビクトリア駅やヒースロー空港は、物価の安いスペインなどでホリデーを楽しむ人びとでごったがえしており、これが失業率一二・三%、大恐慌時なみの深刻な不況と騒ぎ、ワークシェアリングを強調している国の姿かと疑いたくなる。シーズンが終わったかと思うと、こんどは「太陽いっぱいの地中海で」とクリスマス休暇の新聞広告が目をひく。

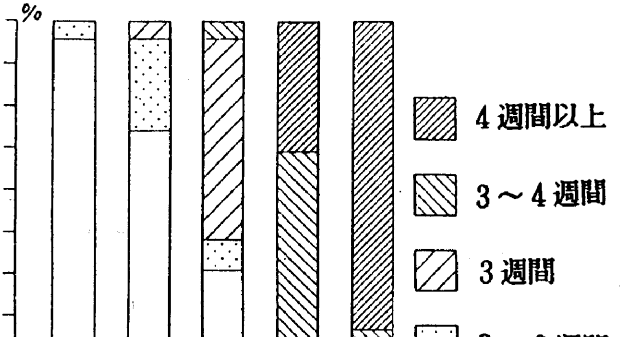
これに反して、巨大な貿易黒字国、アメリカやサウジアラビアを抜く世界最大の債権国、そして統計のとり方が違うとはいえ失業率三%以下の日本はどうか。昨年の夏休みは製造業で七・一日、非製造業ではわずか四・四日であった。年次有給休暇（十五日）の消化率はまだ五二%で、まとめて休暇をとるという習慣も育っていない。わずか数日の休みが「大型連休」と呼ばれ、従業員に「九連休を命じた」といって松下電器の例が新聞記事になったりする。同じ先進工業国でなぜこうも違うのか。なぜ認められた年休を消化しようとしないのか。この極端な相違の背景には有給休暇に対する考え方の違いがある。

≪組合の闘い≫　「年次休暇」「ウィークエンド」「海水浴」はイギリス人が誇る輸出文化であり、「旅行業」はビクトリア時代にトマス・クックが始めた新しいサービス産業であった。しかし、このレジャー先進国でも「有給休暇」が筋肉労働者を含めた、すべての労働者に認められた権利になるのは第二次大戦前夜であった。産業革命期における、少年少女の長時間労働やイングランド銀行の休業日数の激減（一七六一年に四七日、一八三四年にはわずか四日）からも分かるように、機械文明の開始によって労働時間は短縮するどころか、むしろ延長されたのである。それを逆転させる原動力となったのは、十時間法にみられるように、労働運動であって、時短も休日の増加も、労働者が多大の犠牲を払って獲得した成果であった。

有給休暇についても同様で、第一次大戦まではもっぱらホワイトカラーに限られており、肉体労働者がノーワーク・ノーペイを主張して譲らぬ経営者から、それをかちとるのは容易なことではなかった。フランスで人民戦線政府がそれを法制化した一九三六年になっても、ランカシャーの綿工場主は低賃金による日本の競争を理由にそれを拒んでおり、不況の石炭業界では、炭抗夫組合が、ホワイトカラーに認めていることを、なぜ最重労働の彼らに認めないかと激しい抗議を繰り返していたのである。

≪かち取った権利—一九三八年法≫　第一次大戦直後の一九一九年、イギリスでは一日八時間労働が標準になるが、この年、鉄道員の組合はストライキに訴えて一週間の有給休暇をかち取り、全国の組合活動を刺激した。つづく一九二〇年代、三〇年代のイギリスは年々一〇〇万を超える失業者を抱えた大量失業時代で、組合のリーダーは時短とともに有給休暇を失業緩和の一策とする、いわゆる「ワークシェアリング」を構想していた。これをうけて労働党議員が一九二五年と二九年に有給休暇立法化を試みたが失敗し、一九三六年の法案がやっと政府の決意を促した。政府が実態調査に乗り出した当時、全労働者の約六〇%にあたる一〇七五万人が未だその権利を認められていなかったが、一九三八年に有給休暇法が制定されるまでに、有給休暇の協約は急増し、第二次大戦中にそれは実質上、すべての労働者がうける当然の権利となる。

イギリスの年次有給休暇付与日数



≪ホリデー・リゾート≫　ビクトリア時代のレジャー革命はイギリス人の生活のスタイルを変えた。かつての安息日、聖なる日が教会の反対にもかかわらず楽しむホリデーになり、ウィークエンドに変わったように、昔は悪とされた余暇が有用なもの、必要なものと考えられるようになる。労働者は土曜半休制、バンクホリデーと、ふえる余暇を汽車の旅や海辺で楽しむようになり、小さな漁村は民宿や土産物屋が建ち並ぶ行楽地にかわり、夏のブラックプール（ランカシャー）は押し寄せる行楽客であふれた。

有給休暇が広まる一九三〇年代以降になると、大衆のレジャーはそれまでの日帰りや週末の行楽から、リゾート滞在型に移っていく。女性の地位の向上とモータリゼーションがこの傾向に拍車をかけた。リゾートをもつ地方自治体はこのニーズに応えて、ホリデー・リゾートの整備に大規模の公共投資をおこない、民間の余暇産業は、綿、鉄、石炭、造船など旧産業の深刻な不況をよそに伸びつづけた。

もっとも人気があったのは、豊かな自然の中に大規模の宿泊施設、各種の娯楽施設、スポーツ施設を設けて、一週間幾らの包括料金で遊ばせた「ホリデー・キャンプ」で、家事から解放された主婦には特に好評であったという。ふだんは勤倹貯蓄にはげみ、夏のホリデーをゆったり楽しむというイギリス人の生活スタイルは、このようにして形成されたのである。

≪余暇時代への二つの提言≫　イギリスに後れること半世紀、いま日本にもようやく余暇重視の時代が訪れようとしている。だが、長い年月とコストを払って有給休暇をかち取った経験のない日本人に、イギリス人のような権利意識が薄いのは当然で、日本人は働き過ぎという外国の非難があり、内需拡大を急ぐ政府の呼びかけがあっても、「働き人間」が直ちに「遊び人間」に変身するはずもないし、有給休暇をとらない風潮がにわかに改まるとも思えない。しかし「人生八〇年時代」を楽しく送るためには、若い頃から遊ぶ能力を身につけておくことが大事なことではなかろうか。

もう一つは、リゾート乱開発への戒めである。イングランド北部の湖水地方はワーズワースら湖畔の詩人とともに知られる世界的なリゾートであるが、その陰には乱開発や観光公害から身を挺して湖水の自然美を守ってきた人びとがいた。「湖水の番犬」ローンズリーとその友人のヒル、ハンターで、「ナショナル・トラスト」の創立（一八九五年）が彼らの運動に負うことは周知のとおりである。

テクノロジーの散歩道

CADの時代

産業界の普及に加速

工学部にも教室開設

工学部教授　**三上　市蔵**

◆CADとCAM

近年、CAD／CAMの文字が盛んに登場する。CADはコンピュータ支援設計（Computer Aided Design）またはコンピュータ支援製図（Computer Aided Drafting）のことで、コンピュータを利用して設計・製図するシステムである。CAMはコンピュータ支援製造（Computer Aided Manufacturing）のことで、CADの図形データを使って、自動工作機をコンピュータ制御して機械加工するシステムである。したがって、CAD／CAMは設計・製造支援システムともいわれる。

CADを機械設計に活用する試みは、すでに一九五〇年代前半に米国で始められている。そして、一九六五年頃～一九七五年頃に、二次元図形処理を中心としたプリント基板やICパターンの設計用システムが多数発表され、広く普及した。

機械生産の分野では、設計から製造に至る技術情報の流れを総合的に処理するシステムとして注目され、一九七五年頃から急速に導入された。

◆CAD／CAMの現状

現在のところ、CAD／CAMシステムが多く適用されているのは機械系業務（約四〇%）、電気系業務（約二五%）、建築系業務（約一八%）であるが、ほとんど産業界全体にわたって導入されているといってよい。さらに、これまで大企業で、導入されていたものが、中小企業でもFA（Facory Automation）の一貫として積極的に導入するようになっている。ここ数年、パソコンによるCADシステムが多種開発されたので、普及が加速されている。

キャダムサービス社の調査によれば、日本の従業員七～八百人の企業の内、半数がCADを導入しており、残りの2／3の企業が今後三年以内に導入を計画しているという。また、米国データクエスト社の調査によれば、全世界でのCAD／CAMの売上げは一九八〇年の六億㌦が、八四年に三十四億㌦になり、一九八九年には百九十二億㌦になると予想されている。

今後、設計の自動化、工場設備の自動化、情報処理の自動化に留まらず、生産システム全体の自動化に発展し、CAD／CAMはCAE（Computer Aided Engineering）に含まれていく状況にある。

◆大学のCAD教育

産業界にCAD／CAMが広く普及した現在、有効なツールの使用を体験し、ツールを有効に駆使する能力を習得できるように、適正な設計製図教育を実施しないと、学生達は職業選択上、重要な不利を被ることになる。しかし、大学は原理と基礎を教えるところであり、実務的なものは企業内教育で行えばよいとか、CADシステムの導入には費用がかかり過ぎるとか、CADを教えられる教員がいないとか、いろいろの理由を挙げて、これまで大学ではCAD教育は取り上げられなかった。

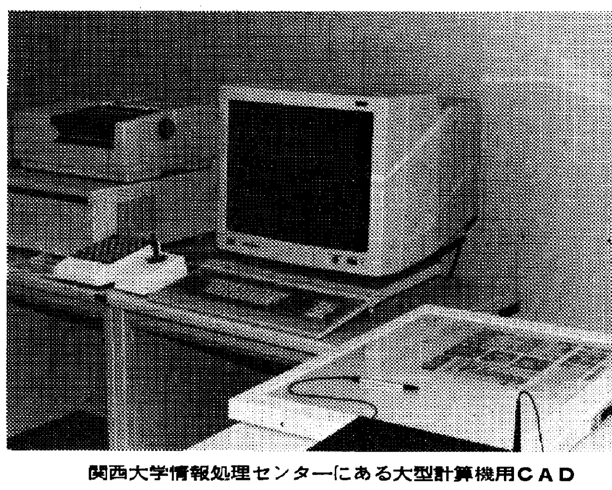
しかし、産業界の動向と大学の講義とのギャップが大きくなるに従い、次のような観点から見直されるようになった。産業界では、問題を発見し、解決する能力を求めている。このような能力を発揮するには、新しいツールを駆使することが不可欠であり、その教育にはCADが最適である。また、米国においては、技術教育の復興が目覚ましく、日本としても対抗上、座視できない。

◆日本のCAD教育の実例

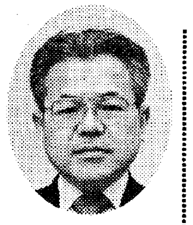
多人数教育の実施例をいくつか挙げておく。東京大学では機械工学科がパソコン四十五台による機械設計教育を始めた。慶応義塾大学では理工学部機械工学科がやはりパソコン四十五台による教育を始めた。早稲田大学では小型計算機とパソコン四十台による理工学部共同利用の共通製図・CAD／CAM教室を開設した。

このような状況であるので、関西大学工学部でも各方面の協力と理解を得て、学部共同利用設備としてCADルームが開設されようとしている。これはパソコン七十五台、漢字プリンタ十六台、XYプロッタ十五台を備えたもので、全国に誇れるものである。今後、この設備を使って、優れたコースウェアとテキストの作成が先生方の力でなされていくものと思う。

なお、米国の土木学会ではCADはCADD（Computer Aided Design and Drafting）と呼ばれている。単なる製図の領域にとどまっているCADはCAdDとでも呼んで、区別すべきであろう。



関西大学情報処理センターにある大型計算機用CADステーション



三上教授のプロフィル

大阪市立大学の土木工学科を昭和三十七年に卒業。日本道路公団で、名神高速道路（吹田—高槻間）の工事に従事、一年後に京都大学の助手、本学では四十三年に専任講師、四十六年助教授、五十三年教授。工博。専門は構造工学・構造設計学で、特に鋼構造の耐荷力。土木学会の論文賞選考委員、論文集編集委員を始め、官庁、協会などの多数の委員会に出席、非常に多忙である。また大阪大学大型計算機センター専門委員、京都大学大型計算機センター理事、私立大学等情報処理連絡協議会管理委員のほか、学内では情報処理センター運営副委員長として活躍している。

終身会費納入者芳名

（昭和61年4月8日から62年1月31日受付分まで。予納会費による払込みは除く。順不同、敬称略）

芦谷皓一郎（26学1法）荒武信一（35学1経）新居稔弘（46学工金）相田豊美（25大経）足立敏（50学1法）伊藤友康（42学2商）井上利夫（36学1経）井沢宏一郎（35学1経）井内清（36学2商）印藤友二（40学2商）岩永俊幸（46学2法）岩崎　弘（47学2経）服部外史郎（25学1法）今井礼子（59学1社）祝前善治（18大政）藤本健二郎（32学1商）石原健一（56院博経）石原鉄夫（28学1法）宇野忠司（33学1経）浦上和久（45学1商）上田正臣（42学2経）上田嘉彦（40学2経）上野博司（59学機Ⅱ）塗家昭彦（52学1法）内山学（18大法）梅木信正（34学2法）海老暲（18専2法）江口智志（41学1法）江崎広史（43学2経）奥田正造（49学1法）岡森　伝（35学2商）平野淑子（25学1哲）小倉安弘（30短大2）小田耕収（34学1法）大治敏夫（56学工管）大城裕二（53院博商）大畑克美（55学1社）尾崎信行（36学1商）梶川隆夫（25専2法）栢原禎典（52学1法）鍵岡陽（15専2法）神沢恒夫（18大法）神木博（26専1経）川嶋昌保（29学2法）片山勝義（42学1法）片平照秋（38学1経）岸田修（41院修公）北原繁（43学工化）北川正一（29学1経）木下勇（41学1新）木村昭博（33学1経）栗山政治（40学1経）黒田享（35学1法）古味昇一郎（58学1経）後藤田正一（36学2経）幸田良一（29学1法）康明徳（37学1史）児島重博（19専2商）小八木博（52学1経）小林徳治郎（39院修商）佐中淳七（15大商）坂口巧（11専2商）貞利政和（27学1法）塩田進康（27学1国）七条計真（18専2法）尺田慎一（54学1中）甚田正義（40学工化）清水裕彦（44学1法）島田熙（19専2商）杉山康彦（60学2法）墨谷淳（39学工電）鈴木康温（34学2法）玉置義雄（34学2国）建林延欣（36学1法）高橋修三（49学2法）高橋秀行（33学1経）高田一（29学2経）谷由紀（38学1商）谷岡剛（34学1法）田口一（60学1法）田中義真（25学2国）千原章宏（56学工管）土屋博（27学1法）鳥屋原豊彦（38学1経）土井鉄治郎（19専2国）徳弘昭平（27学1経）平井頼子（43学1法）中山稔（39学2商）中川政人（8専1法）内藤守（24大法）南部己代治（13専2法）仁井正樹（58学1英）西山政弘（35学1英）西森正臣（22大法）野田寛（43学1経）橋本正（40学1法）橋本寿之（61院修金）林行男（40学1新）引網健（18専2経）火伏郁雄（36学1法）広嶋正和（35学2経）弘中俊夫（19専2法）樋上佳史（61学1社）平井昭夫（35学1経）平川治雄（12大経）平田啓治郎（34学2経）平木武（14大法）平野恒次（28学2商）古川好男（32学1法）深瀬允勝（41学1法）藤井丘（37学1経）藤井弥生（29短大2）藤賀裕一（59学1哲）藤田一也（21大法）福田八郎（29学2経）福島和彦（36学1経）別府知明（56学工金）堀江治之（30学2経）本沢幸雄（32学1法）松下出（48院修化）松尾府（14大政）前羽公平（44学1法）前田伊津夫（32学1国）増田博（39学1商）宮平秀雄（28学1法）三宅信史（47学1法）水元誠司（42学1商）南和人（48学工建）森悦三（11大法）森哲雄（37学1経）森田正二郎（42学1新）森部圭起（28院修公）森脇弘道（55学応化）明章次（34学2商）安田（55学工機）安田則吉（30学1商）山崎千明（50学工山田信也（46院博英）山田信夫（32学1新）山田陽清（38学1経）山田政次郎（13専2法）山本勲（31学1法）山本太祥（17専2法）矢野温三（29学1経）矢野一幸（28学1経）柳原政敏（43学1法）柳生佳洋（34学2商）横部仁旨（16専2法）吉松寛彦（15大商）吉村悦照（39学工機）二ノ井広造（41学1商）好村克己（57学1経）綿奈部新（25学2経）脇坂孝之（41学工管）脇舛貞夫（34学1商）木下宏（9専2経）小中清治（14専2商）吉岡嘉裕（17大商）佐々木幸代司（19大政）大谷正明（26学1経）波多野真視（39学2政）勝地孝雄（42学2法）大栗京子（42学1英）岡本元一（33学2英）山本康夫（25学1商）中山浩春（61学1商）安部大佳（48院博経）伊藤省三（39学1国）江崎敏江（52学1法）和田真実（52学1法）高橋宏（36学1商）南輝雄（42学2商）森田芳郎（10専2英）桑原弘和（54学1英）水本徹（32学1法）荒井恒夫（37学1経）和島一俊（41学1商）角野仁孝（41学1商）大倉雄次郎（41学2経）丸岡英睦（33学1商）吉田潔（38学工化）喜助田裕彦（43学1法）大村義和（32学1法）松本実（25大法）片岡宏司（61学工機）鈴木孝治（45学1経）柴田清隆（28学1法）田阪薫（35学2法）河合幸二（38学2経）浪江延尚（45学1法）川越武雄（24大経）三上彰（34学1政）宮垣助次（33学1法）蔭山安哲（25大法）追寿雄（36学1商）堀畑好秀（41学1法）豊島正史（53学1社）坂倉美登（27学1経）中追伸次（45学1法）東潤（推選）岡本卓三（36学1経）

自動車・火災・傷害
☆損害保険で大きな安心☆
〒540-91　東区北浜5-26　住友海上・近二営一
TEL 06-220-3062　今田新二（48学1法卒）

原田重信氏（原田孝太郎此花支部長＝28学1経＝の父）十二月十九日午後八時十五分、心不全のため死去、八十三歳。

吉岡隆俊氏（18専Ⅰ商）十二月二十四日、肝臓がんのため死去、六十二歳。

大前義一氏（大阪府議会議員・校友会代議員・大前英世氏＝42院修法＝の父）十二月二十五日、じん不全のため死去、七十九歳。

浦地辰雄氏（3大予、6大法）十二月二十九日、死去、八十二歳。

原　亨氏（元健康管理センター所長）一月一日午後零時四十二分、じん不全のため死去、九十一歳。

遠藤文雄氏（6専法、元大阪市交通局教習所長）一月五日、脳硬そくのため死去、七十六歳。

斉藤国臣氏（13専2法、校友会代議員、コナミ工業監査役、神戸地・簡裁民事・家事調停委員、元兵庫県土地開発公社理事長）一月十五日午前四時五十五分、肺がんで死去、七十二歳。

新堀鉱麻治氏（17大法、東京支部副支部長、関大不動産鑑定士クラブ会長、不動産鑑定士）一月十七日、心臓肥大症のため死去、六十九歳。

後藤吉二氏（10専2経）一月二十四日、死去、七十四歳。

森本テルさん（大阪府庁秀麗会幹事長・府民情報室長・森本賢一氏＝32学2法＝の母）一月二十九日午後零時四十五分、老衰のため死去、九十歳。

川越　智氏（3大予、6大法、元大阪貿易学院高校講師）二月四日午後九時五十七分、すい臓がんのため死去、八十二歳。

保田与一氏（保田芳昭商学部教授の父）二月十日午後二時四十五分、死去。七十七歳。

鳥居政夫氏（鳥居運送社長、校友会常議員・体育OB会副会長・鳥居康三氏＝35学1商＝の父）二月十二日午前三時五十分、急性心不全のため死去。七十四歳。

◇政治学会のお知らせ

母校政治科出身者全員で組織する関西大学政治学会（安富敬作会長）は、つぎのとおり総会を開く。案内状の届かなかった会員もぜひ参加して下さい。

▽日時　二月二十八日（土）午後二時（四時半終了の予定）

▽場所　清交社　電話（〇六—三六一—〇八三三）大阪市北区西天満二丁目・大江橋北詰堂ビル九階（地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅下車・北へ徒歩五分東側）

▽行事　記念講演　東山利雄氏『これでいいのかアマチュアスポーツ』（サンケイスポーツ新聞社常務取締役、26学1政）総会　引き続き懇親会

▽会費六、〇〇〇円

▽問い合わせ　校友会事務局内　山口　電話（06）388—1121（内線4612）

◆塚田串木野市長が五選

鹿児島県串木野市長選が一月十八日行われ、校友の塚田新市氏（も8二商、13専2商、16大法＝無保守系＝が五選を果たした。

素朴な海辺の旅情——
丹後　久美浜
懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。
—推選　法学部教授、拳法部顧問　堀　堅士先生—
生うに料理（1年中）
カニ料理（11月中旬〜3月下旬）
カキ料理（11月中旬〜3月下旬）
●その他ご予約に応じて料理致します
山陰海岸国立公園　旅館　小天橋
平井善次郎（31年法学部卒）
☎（07728）3—0371（代）
京都府久美浜町湊宮（湊大橋手前）

営業科目
陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・外）
公害防止機器並に装置・設備工事の斡旋及び其他関連事業
賃ビル・賃マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区西天満六—八—一二　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五一番（代表）

中尾フィルター工業株式会社
取締役社長　中尾善宣
大阪市北区芝田一—四—八（北阪急ビル七階）
電話　大阪（〇六）三七二—二〇三三番（代表）
西宮市北昭和町一四—一
電話　西宮　六五—三五〇三番

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550大阪市西区北堀江一丁目一—八　電話（五三八）[illegible]
支店営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸

ビル清掃・管理
株式会社関西サービス社
代表取締役　片岡富和（昭31法卒）
本社　大阪市東淀川区東中島4丁目7-16
電話（06）322-9236（代）
事業所　吹田市山手町3丁目3-35　関大内
電話（06）388-1121（内）4711